

# プラスアルファ

STEP by STEP ～共に乗り越え明るい未来へ～

2024年10月5日発行 No. 411

今回の作成担当



常任委員 山本 結友  
徳島駅

J R 四国労組  
LINE公式アカウント



友達募集中



## J R 連合 青年・女性委員会

# 第33回定期総会開催

つながり

～JR連合に集う仲間の輪をさらに広げよう～

J R 連合青年・女性委員会第33回定期総会が9月21日、K K Rホテル名古屋にて開催され、J R 四国労組からは幹事1名、総会委員4名並びに傍聴2名が参加しました。全国から仲間が集結し、スローガン『つながり～J R 連合に集う仲間の輪をさらに広げよう～』を掲げ、向こう1年間の活動方針を決定しました。

冒頭、李澤議長（J R 西労組）が挨拶に立ち、安全確立への取り組み、政治活動について、青年・女性委員会活動への取り組みについて所信を述べました。また、来賓としてJ R 連合・荻山会長、同青年・女性委員会担当の相良組織局長、住吉労働政策局長、吉田執行委員、地元J R 東海ユニオンより尾内中央執行委員長にお越しいただき、期待と激励を込めた挨拶を賜りました。

質疑では、J R 四国労組より角南総会委員が「安全について」、「政策課題について」、「仲間との交流」など諸課題について発言しました。



角南総会委員より発言



質疑に答える近藤幹事



J R 連合 荻山会長ご挨拶



J R 東海ユニオン 尾内中央執行委員長

# JR四国労組総会委員の発言要旨

## 1. 安全について

JR四国労組では、安全の確保は鉄道事業者にとって絶対を守るべき使命であり、すべてに優先する最重要課題との考えのもと、チェック・提言機能を発揮し、安全の取り組みの強化を図っております。しかしながら昨年、補機駆動軸に右肘上のつなぎ服ごと巻き込まれ負傷するといった、過去に他社で発生した死亡労働災害と同種の事故が発生したことから、原因究明と対策を会社に申し入れました。青年女性会議として若年層の働く組合員の意見や考えを吸い上げて、「安全・安定・安心輸送」の実現に向けて引き続き邁進してまいります。そして、先手先手の労働運動を展開し、安全最優先の職場風土づくりに努めてまいります。

## 2. 政策課題について

昨今の物価高や燃油価格の高騰により、JR産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。青年女性会議としての活動を停滞させることなく、必ず来る明るい未来に向け変化を恐れず主体性を持って前向きにチャレンジしていきます。来年度にはJR四国に対する国からの支援が終了となります。JR四国の経営自立に向けた道のりは半ばであり、継続的な支援が必要です。そして、私たち四国で暮らし、四国で働く者の夢である四国新幹線実現のための議論の加速、機運の醸成に向けて様々な場で意見を発出して参りますのでJR連合のお力添えをお願い致します。

## 3. 仲間との交流について

私たちJR四国労組は役員研修会やユースラリーなどのJR連合が主催する行事に参加させていただいています。

四国地協としての青年女性委員会の活動はまだまだできていないのが現状ですが、直近では同じ四国で働く仲間である四国電力労働組合との交流会実現に向け、意見交換を行っており、開催されれば大きな変化への一歩となることから我々も楽しみにしているところです。

地協での活動は「プチJR連合」の活動とされているように青女世代の離職が相次いでいる今だからこそ仲間づくりや横の繋がりを作るためにとても重要な活動だと考えています。

グループ労組等を巻き込んだ活動に取り組んで参りますので状況が許せば、ぜひ、四国の仲間と交流しましょう。

また、今総会において、4名の役員が勇退し、昨年に続いてJR四国労組からは、本部青年女性会議の近藤副議長が選出されました。

最後に総会アピールを採択し、李澤議長の発声のもと団結ガンバローで総会を締めくくりました。



### 【役員選出】

役職名	氏名	単組	備考
議長	李澤 亮汰	JR西労組	再任
事務長	坂上 拓也	JR東海ユニオン	再任
幹事	壬生 雅大	JR北労組	再任
	及川 あすか	JR東海ユニオン	新任
	杉原 渚	JR西労組	新任
	近藤 直樹	JR四国労組	再任
	古澤 翔太	JR九州労組	新任
	小林 優太郎	貨物鉄産労	新任

